

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
医療的ケア児等の支援 ※	◇医療的ケア児等ネットワーク部会にて情報共有・意見交換会	P. 44	第1回：5月31日開催 【参加者 17名】 保育園児と小学生の医ケア児の園・学校での様子及び、学校への訪問看護導入状況について、情報交換を行った。 第2回：10月18日開催 【参加者 17名】 以下の3点の提案があった。 ・保育園や市内公立小中学校への就学希望の方の相談時期について。 ・医療的ケア児保護者が集まる機会を作ること。 ・今後部会へのサービス事業者の参加メンバーに訪問看護、児童発達支援事業所、居宅介護事業所を加えていくこと。 第3回：3月8日開催 【参加者17名】 保育園での実際の取り組みを確認し、令和6年度に小学校へ進学される児童について、情報共有した。	医療的ケア児等コーディネーターに求められること、医ケア児が在学中に学校側が用意しておくべきこと等の意見があり、それぞれ今後の業務の参考になった。 このほか、以下2点について進めることとなった。 ・保護者同士がつながるきっかけの場となることを目的に、「医療的ケア児の家族の集い」の開催。 ・実際に支援を行っている福祉サービス事業所からの意見等を把握するため、医療的ケア児等ネットワーク部会にサービス事業所への参加の促進。	終了・継続・変更 → 継続 → 同じ・変更	医療的ケア児の在宅生活を支えている福祉サービス事業所にも、医療的ケア児等ネットワーク部会に参加していただくことで、医療的ケア児等を支える幅広いネットワーク作りを行っていく。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更（※）	理由・根拠
※続き	◇支援者による意見交換会	P. 44	6月27日開催 参加者 12名 支援者同士の情報交換や、意見交換を行った。	事業所の困りごとや支援について情報共有することによって、対応の参考になった。関係機関の顔合わせ（関係づくり）ができた。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	もっと多くの機関と情報共有ができるとよいという意見があり、開催案内を早めに行い、より多くの関係者と意見交換できる場を設けていく。
	◇なかよし訪問 ①医療的ケア児等の訪問面談 ②個別ニーズ調査		4月～9月 4名 10月～令和6年1月 2名 医療的ケア児等コーディネーターと保健センターの保健師が自宅や病院で面談をした。	①小牧市で新規の医療的ケア児等の把握の仕方ができたことで、新規の医療的ケア児等へのなかよし訪問は、順調に行えている。但し、全ての医療的ケア児を把握できているわけではない。 ②個別ニーズ調査について、全てのケースでニーズの聞き取りができてないが、兄弟の保育園送迎問題や、親の就労問題など把握できた。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	今後も、小牧市の新規医療的ケア児等の把握を行い、支援体制を作り、生活を支えることにつなげていく。
	◇継続ケースの把握、共有	P. 44	医療的ケア児等ネットワーク部会で、継続ケースの状況の共有を行った。	①保育園での具体的な様子を共有することができた。当該児童の保育園の園長に医療的ケア児等ネットワーク部会に出席していただき、実際の状況を確認できた。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	一人の医療的ケア児の経過と現状を定期的に確認することで、次の医療的ケア児への支援に活かす。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
	◇医療的ケア児等コーディネーターの周知		医療的ケア児等コーディネーターと保健センターで自宅や病院への訪問面談を行った。	相談先の周知ができてきている。	終了・継続 → 同じ・変更	新規の医療的ケア児等には、今後も周知が必要。
※続き	◇医療的ケア児に関する冊子作成 ・「はじめのいっぽ in komaki 制作委員会」		はじめのいっぽ in komaki 制作委員会 ◇6月22日開催 【参加者 13名】 ◇9月8日開催 【参加者 13名】 ◇12月1日開催 【参加者 13名】	医療的ケアに関する掲載内容の検討を行った。 関係機関の問い合わせ先や情報などをいち早く確認できるよう、各機関のQRコードを掲載した。	終了・継続 → 同じ・変更	今後は支援が必要な児童の保護者に活用していただけるよう、関係機関へ配布していく。 内容を確認し、年に一度市のホームページを更新する。 次回のはじめのいっぽの作成は4年後とする。

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変える(変更)という意味で変更